

顧問教員はいなくても
問題ありません。

東京大学アマチュア無線部
顧問
代表

前提として、書いた内容は
遵守していただくようお願い
いたします。

挨拶および目次は不
要です。

東京大学アマチュア無線部における 感染リスク・感染予防対策に関する指針

平素より東京大学アマチュア無線部の活動におきまして、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は当部の課外活動を、感染防止策を徹底した上で再開させていただきたく、活動をする上で行う感染症対策を以下の通り策定します。

1) アマチュア無線部の活動内容・競技特性について	2
① アマチュア無線部の活動形態	2
② 感染症の観点から見たアマチュア無線部の活動の特性	2
2) 感染症対策について	3
① 「課外活動再開に向けての本学の方針について※令和3年3月5日追記」の遵守	3
② 各建物、管轄学部学科の規則の遵守	3
③ 「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」を策定と遵守	3
3) 無線部の具体的な感染症対策について	5
① 無線通信及びコンテスト参加時の対策	5
② 製作活動中の対策	6
③ 活動以外での対策	8
4) 本活動計画書およびガイドラインの修正	8
5) 非常事態について	8
6) 参考資料	9

1) アマチュア無線部の活動内容・競技特性について

① アマチュア無線部の活動形態

● 場所：

➤ 駒場キャンパス学生会館 310 号室

-



- レベル 1 時は物品の取り出しのみ行う

➤ 本郷キャンパス生協第二食堂(2 号室)

- 管理団体：本部学生支援課

-

- レベル 1 時は使用しない

➤ 工学部 2 号館ラウンジ



➤ 工学部 13 号館一般電子実験室



- 時間帯：毎週火曜日 17 時~21 時（レベル 1 時は 19 時まで）
- 部員：東大生 15 人(社会人学生含む)
- 活動内容：無線通信（コンテスト参加）、製作活動（電子工作、プログラミング）

活動内容を明記してください。
活動内容については学生会館・キャンパスプラザ
で行う活動のみで問題ありません。
部員人数は不要です。

② 感染症の観点から見たアマチュア無線部の活動の特性

- 個人競技であるため身体的接触が少ない
- 製作活動・交信を目的としているので移動が少ない
- 無線通信をするので声を出す必要がある
- 一部の道具は高額であるため共有の必要がある
- 部屋が小さいため密になりやすい

感染対策の観点（特に三密や飛沫感染への対策を踏まえて）から見た活動の安全な面・危険な面を記述してください。
写真は必須ではありません。

危険な面を踏まえて必要な対策を記述してください。

よって、飛沫対策、物品共有に関する対策、部屋への人数制限を行えば安全性を確保できると考えられる。

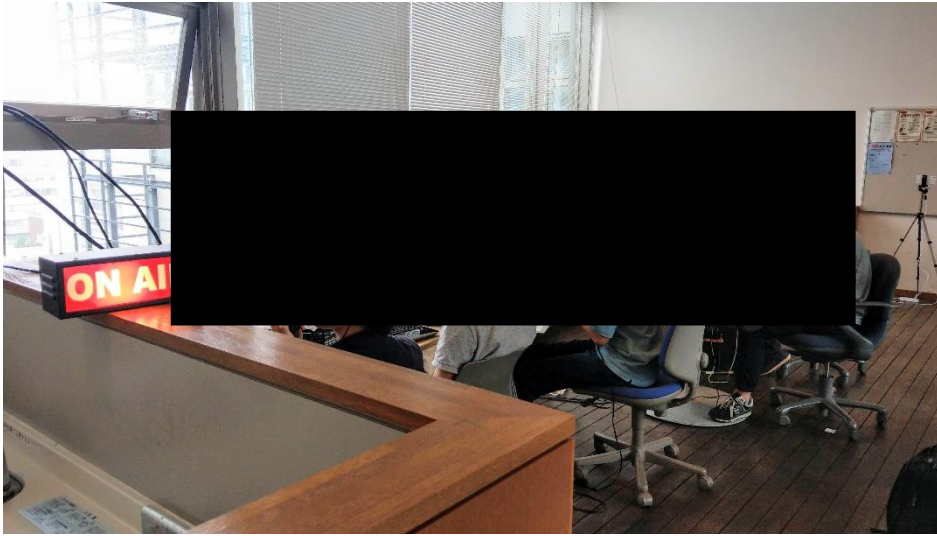


図 1 コロナ禍以前の活動（コンテスト運用）の様子



図 2 コロナ禍以前の活動（製作活動）の様子

感染症対策で一般に必要なだと考えられる部分をまず記述してください。

2) 感染症対策について

- ① 「課外活動再開に向けての本学の方針について※令和3年3月5日追記」の遵守
「課外活動再開に向けての本学の方針について」を遵守した上で、感染予防対策を行い、当部は活動を行う。
- ② 各建物、管轄学部学科の規則の遵守
当部は利用する建物の規則、管轄する学部学科の策定したコロナ対策規則を遵守する。
- ③ 「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」を策定と遵守
利用する学生において「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」を策定し、それを遵守した上で、活動を行う。

「アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン」

1. 活動における「三つの密」対策

【密閉】

- 1-1. 利用時は窓や扉を開けた状態にして換気を行う

【密集】

- 1-2. 同時時間帯での利用定員は各建物の規則に則る

特に三密対策については記述をお願いします。

1-3. オンラインで可能な作業はオンラインを基本とする

【密接】

1-4. 身体的距離は2m以上を保つ

2. 予防体制

2-1. 活動開始時、休憩前後、利用終了時に手洗い、消毒を行う

2-2. 活動中も必要に応じて手洗い、消毒を行う

2-3. 活動時には常時マスクやフェイスシールドを着用する

2-4. 通学時にもマスクやフェイスシールドを着用する

2-5. 咳エチケットを順守する

2-6. 施設の共用部分、特にドアノブは使用の前後に消毒を行う

2-7. 道具の共有を行う際には消毒を行う

2-8. 密室での飲食は行わない

2-9. 水分補給を行う場合は換気の良い場所で行う

2-10. 活動前後にコンパ等の食事を行わない

消毒液の用意、
飲食を控える、
大学の方針にあるように
健康管理者を設置し、部
員の体温を報告させ、異
常がある場合には参加さ
せないなど、感染の予防
および食い止める方法の
記述をお願いします。

3. その他

3-1. 健康管理者と顧問の教員は感染対策の履行状況を確認し、徹底させる

3-2. 利用する学生はスマートフォンがない場合を除き COCOA をインストールする

3-3. 出来る限り徒歩、自転車で通学を行う

3-4. 公共交通機関を利用する学生は可能な限り混雑時間を避ける

3-5. 帰宅時には必ず手洗い・消毒を行う

3-6. 健康管理者は体温の情報は個人情報であることに十分留意し、必要な範囲で教員に報告する以外で外部に漏らさず、利用の判断を行う目的以外で閲覧、利用しない

3-7. 新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、教員に報告をする。必ず、個人情報の流出やプライバシーを配慮する。また、差別や不利益がないようすべての学生が努力する

3-8. 部員の個別の事情に配慮する

上は一般論でしたが、個別具体的に必要だと考えられる感染対策の方法について記述をお願いします（ex. 金管楽器なら吹く方向を一方方向にするなど特有のものがあると考えられます）。

3) 無線部の具体的な感染症対策について

① 無線通信及びコンテスト参加時の対策

まず、当部の活動の一つであるコンテスト参加時の感染症対策について記述する。

コンテストとは規定の時間内に多くの無線局と交信することで得点を競うものである。当部では「マルチオペ」と呼ばれる参加形態を取り、複数人がそれぞれの無線機の前に座って同時に運用する。

運用には無線機のほか、マイクや電鍵などの入力装置や、記録用のPC、アンテナを必要とする（図3）。アンテナは学生会館屋上に設置してあるもの（図4）を用いるか、または同様に見晴らしの良い場所に仮設置して用いる。



図3 工学部2号館12階ラウンジにおける運用の様子



図4 学生会館屋上に設置のアンテナ

以下ではコンテストにおける具体的な感染症対策を「活動前」「活動中」「活動後」の3つに分ける形で記載する。

活動の前・中・後に分けると書きやすいと思います。

(ア) 活動前

- 『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』に基づき、検温を実施、健康管理担当者は活動参加者の体調記録を確認し、発熱などの症状がある場合は参加させない（『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』にも明記）。
- 徒歩や自転車で通える部員には公共交通機関を使わないことを推奨する。
- 部員には熱中症などには気を付けながらのマスクの着用を徹底させる。
- 活動場所にアルコール消毒液、道具消毒用ウェットティッシュを準備する。
- 到着後は手指のアルコール消毒を徹底させる。
- 準備中は他の部員と2m以上の距離を保つ。

(イ)活動中

- 参加人数：

換気能力調査の上限または各建物管理者の指示に従い、活動前にシフト表を作成し、一度に入室する人数を制限する。具体的には、各活動場所で以下の通りとする。ただし、工学系の基準（レベル1時：1人/15平米、レベル0.5時1人/10平米）をもとに算出した。

活動場所	レベル 0.5 時	レベル 1 時
駒場学生会館 310 号室	2 人	使用不能※1
生協第 2 食堂 2 号室	3 人	使用不能※2
工学部 2 号館ラウンジ	3 人	2 人
工学部 13 号館一般電子実験室 (1 ゾーンあたりの人数)	3 人	2 人

※1 教養学部の指針によりレベル1時は使用できない

※2 本部学生支援課の指針によりレベル1時は使用できない

- 道具の共用：

コンテスト中は、図1に示したマイク、電鍵、ヘッドホン、PC、無線機を共用し、運用者の交代に伴って複数人が触れる。したがって運用を代わる際は、それまでの運用者が自ら触れた部分をウェットティッシュで消毒する。また、運用の前後で手指の消毒を行う。

- 活動中は他の部員と2m以上の距離を保つ。
- 発声に伴う飛沫感染防止のため、常にマスクを着用する。
- 30分に1回程度、運用中の部屋を換気する。

(ウ)活動後

- 片付け中は他の部員と2m以上の距離を保つ。
- 施設内の共用箇所（窓や扉の取っ手など）はアルコール消毒する。
- 退出前は手指のアルコール消毒を徹底させる。

② 製作活動中の対策

当部における製作活動には、電子工作・プログラミング開発等が含まれる。

活動内容ごとに記述が必要だと考えられる場合は追加で記述してください
(ex. 金管楽器と弦楽器で対策が違う場合や練習と演奏会で対策が違う場合など)。

電子工作は、無線機やアンテナ、オーディオ機器その他の製作を行う。そのため本郷第二食堂2号室や工学部13号館の測定器(図5)や工作機械(図6)を使用する。



図5 本郷第二食堂2号室の計測器



図6 本郷第二食堂2号室の工作機械

以下では製作活動における具体的な感染症対策を「活動前」「活動中」「活動後」の3つに分ける形で記載する。

(ア)活動前

- 『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』に基づき、検温を実施、健康管理担当者は活動参加者の体調記録を確認し、発熱などの症状がある場合は参加させない(『アマチュア無線部感染症対策に関わるガイドライン』にも明記)。
- 徒歩や自転車で通える部員には公共交通機関を使わないことを推奨する。
- 自宅で行える作業は自宅で行うようにする。
- 部員には熱中症などには気を付けながらのマスクの着用を徹底させる。
- 活動場所にアルコール消毒液、道具消毒用ウェットティッシュを準備する。
- 到着後は手指のアルコール消毒を徹底させる。
- 準備中は他の部員と2m以上の距離を保つ。

(イ)活動中

- 参加人数：
換気能力調査の上限または各建物管理者の指示に従い、一度に入室する人数を制限する。
- 道具の共用：
測定器及び工作機械は複数人が触れる。したがって使用後はできる限りウェットティッシュで消毒する。また、使用の前後で手指の消毒を行う。
- 活動中は他の部員と2m以上の距離を保つ。
- 発声に伴う飛沫感染防止のため、常にマスクを着用する。
- 30分に1回程度、運用中の部屋を換気する。

- 工学部 13 号館を利用する場合は、『一般電子工学実験室 コロナウイルス感染症対応研究室 マニュアル』を熟読し、遵守する。

(ウ)活動後

- 片付け中は他の部員と 2m 以上の距離を保つ。
- 施設内の共用箇所（窓や扉の取っ手など）はアルコール消毒する。
- 退出前は手指のアルコール消毒を徹底させる。

家に帰るまでが課外活動ですので、活動の外でサークルで危険だと考えられる事項があればその対策についても記述をお願いします。

③ 活動以外での対策

- 日常生活で感染症対策として意識すべきこと（「夜の街」への外出自粛、手洗いうがい、活動前後の不要不急の外出自粛）を部員に周知する。
- ミーティングはすべてオンラインで実施する。
- 部員間での外食は自粛するように周知する。
- 感染が多く報告されている繁華街での外食等を禁止させる。
- コンパなどは当面の間禁止。オンラインでは可。
- 部員向けに、遵守してもらいたいことをまとめたリストを作成し、ルールの完璧な理解を促す。

4) 本活動計画書およびガイドラインの修正

この活動計画書およびガイドラインは感染拡大の状況や COVID-19 に対する状況に応じて変更する必要がある。その際の変更は以下のように行う。

1. 健康管理者が中心になって改定案を作成
2. 部会において承認を行う

変更や実施についてはサークル内で周知を行うようお願いします（この場合は部会が全員参加であるためその場で周知を行う）。

5) 非常事態について

感染拡大の状況によっては利用を停止せざるを得ない状況になる場合がある。その場合には学生の意見を聴取しつつ、顧問教員の命令で停止させることが可能である。

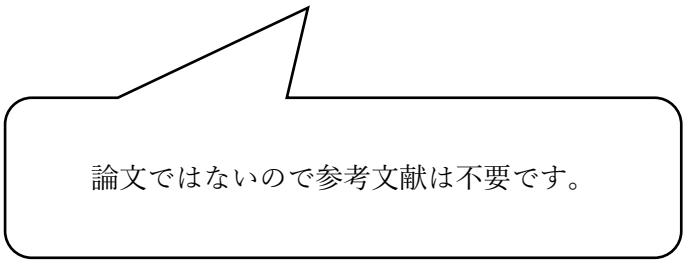
また、利用した者の中に感染者が出た場合は 2 週間の対面における活動を停止し、学生会館委員会および大学に報告する。

このサークルは顧問の責任のもとに活動ができてい部分があるためこの条項が存在しますが、一般には不要です。

感染・濃厚接触が発生した場合は大学・学生会館委員会に報告してください。

6) 参考資料

- [1]. 染谷隆夫「工学部長あいさつ」 <https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/about/about.html>, 2021/03/17 閲覧
- [2]. Patrick R. J. Brown(1966) “THE INFLUENCE OF AMATEUR RADIO ON THE DEVELOPMENT OF THE COMMERCIAL MARKET FOR QUARTZ PIEZOELECTRIC RESONATORS IN THE UNITED STATES,” <http://www.bliley.net/XTAL/Industry-Hams.html>, 2021/03/17 閲覧
- [3]. 東京大学(2020) 「課外活動再開に向けての本学の方針について※令和3年3月5日追記」, <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/policy-about-restart-of-activities.html> ,2021/03/09 閲覧
- [4]. 太田邦史 (2020) 「課外活動の再開にあたっての注意」, https://www.c.u-tokyo.ac.jp/COVID19_20200731.pdf ,2021/03/02 閲覧
- [5]. 東京大学 (2020) 「学生の皆さんへ 理事・副学長メッセージ ～活動制限「レベル0.5」における、東京大学の対面授業や課外活動等の再開等に係る考え方について」, <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/COVID-19-message-20200715.html> ,2021/03/02 閲覧
- [6]. 東京大学運動会男子フィールドホッケー部 (2020) 「活動計画書」, [https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書\(運動会男子ホッケー部\).pdf](https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書(運動会男子ホッケー部).pdf), 2021/03/01 閲覧
- [7]. 東京大学書道研究会(2020) 「活動計画書」, [https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書\(書道研究会\).pdf](https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/03_【作成例】活動計画書(書道研究会).pdf), 2021/03/01 閲覧
- [8]. 一般社団法人日本経済団体連合会(2020) オフィスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン, https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/040_guideline1.html , 2021/03/02 閲覧
- [9]. 東京大学(2020) 「一般電子工学実験室 コロナウイルス感染症対応研究室マニュアル」, http://ippan01.if.t.u-tokyo.ac.jp/covid19/manual_level1_v2.html, 2021/03/02 閲覧



論文ではないので参考文献は不要です。